



なにわ区ラボ第 24 回

浪速区 / 「タツジン」に学ぼう！

街の若手で地元を語る会

7²_{8,9} Labo

「地域」で活動する仲間を増やそう！

U^{アンダー}50

街の若手で地元を語る会「U50」も 5 回目。「地域活動に関わる人を増やしたい」のは、どの地域も同じ。
2016 年 12 月 6 日、地域で活動する若手 38 名が集まり、浪速区に住む身近な「タツジン」の知恵と工夫を学びました。

立葉地域 森昌裕さん

①新しい仲間の見つけ方

パパは園に来ることが少ないので、先生・保護者・園の様子も分からない。ママの協力を得て、ママ友のだんなさんからお誘いスタート。

遅めの時間からスタートする飲み会や BBQ など、1 人ずつ声をかけ、始めは数人だったのが、どんどん参加者が増えました。すると、幼稚園行事へのパパ参加率も上昇。行事への理解が深まると、パパも協力する姿勢へと変わっていきました。

パパ会が出来てからは、PTA 役員の選出もかなりスムーズになりました。

こんな時、どうしたら？

Q1、LINE で案内を送っても、メンバーが集まらない。

A、先に出席者を確保し、「出席」の好循環を作ってから広く呼びかける。先に断られると、どんどん「欠席」ループができてしまう。

Q2、新しい人が入って来ず、仲間が増えない。

A、入りやすいようにどんどん声かけして、まずは大きな輪作りを。今いるメンバーの内輪感が出ない工夫も必要。

幼稚園で「パパ会」を作りました。



★ POINT!

- ①人をつなぐのが得意な人に相談した。
- ②パパ友に会うのが楽しみとなり、行事のパパ出席率が増えた。
- ③必ず参加するメンバーを確保「飲み会 四天王!？」

★ 他地域にもこんな工夫が

具体的に頼んだほうが参加しやすい。サポーター募集のチラシを配付した。

②地元の人たちと一緒にできる方法

難波元町には、あいさつ回り、懇親会、地藏盆、神輿・夏祭り…と、地域の町会長さんと PTA が知り合い、一緒に地域行事を支えるシステムがあります。PTA は大きな役割をまかされていて、地域の会議にも毎月参加して情報共有を図っています。

一番のビッグイベントは、「ふれあい運動会」。

PTA が運営委員会として会議の仕切り、議事案作成、細かな意見調整などをしながら、地域を動き回ります。

これは 26 年前、PTA から「やりたい」と、地域に協力をお願いして始まったそう。歴代 PTA 会長が今も、地域の役員として活躍していることもあり、地域全体で積極的に応援。地域の各団体が、景品準備や競技運営、受付、模擬店など事前準備から役割分担し、すっかり「地域一丸となれるイベント」に育っています。

難波元町地域 柏村貴一郎さん

行事の中で接触が多いので地域に顔見知りが増えます。



★ POINT!

イベント運営を通じて地域に知り合いが増えれば、活動にも幅がひろがるはず。そのノウハウを学びました。